

# 平成30年度第5回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」 「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：平成 31 年 3 月 20 日（金）午後 6 時 45 分～午後 8 時 45 分  
会場：すみだリバーサイド イベントホール

## 次 第

### 1 開会

### 2 報告事項

議 題	資料No.
(1) 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果報告について	資料 1
(2) 平成 31 年度（2019 年度）スケジュール（案）について	資料 2

### 3 議題

議 題	資料No.
次期（第二期）計画の策定に向けて	資料 3

### 4 その他

### 5 次回開催予定

### 6 閉会

## 配布資料

資料 1－1	墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書
資料 1－2	墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書【概要版】
資料 1－3	アンケート回答者の偏りが調査結果に与える影響について
資料 1－4	評価指標について
資料 2	平成 31 年度（2019 年度）スケジュール（案）
資料 3－1	次期（第二期）墨田区子ども・子育て支援事業計画に向けた課題整理
資料 3－2	次期（第二期）墨田区子ども・子育て支援事業計画「基本理念」（案）の検討について

## 出席者（敬称略）

### ○委員

高嶋 景子（聖心女子大学文学部教育学科准教授）

松山 洋平（和泉短期大学准教授）  
長田 朋久（横川さくら保育園長）  
西島 由美（にしじま小児科院長）  
小林 恵子（両国子育てひろば施設長）  
押田 剛（主任児童委員）  
小菅 崇行（東京商工会議所墨田支部副会長）  
佐藤 まり子（ムーミン保育室施設長）  
賀川 祐二（NPO法人 病児保育を作る会代表理事）  
宮村 柚衣（ちゃのま保育園代表）  
佐藤 達也（区民公募委員）  
横井 貴広（区民公募委員）  
河原 宏子（緑幼稚園長）  
中村 奈緒美（第三寺島小学校長）  
桂本 圭子（寺島保育園長）

#### <欠席委員>

野原 健治（社会福祉法人興望館常務理事）  
服部 榮（社会福祉法人雲柱社理事長）  
小川 政美（吾嬭立花中学校PTA会長）  
鈴木 真由美（青少年委員協議会委員）  
中村 信幸（連合墨田地区協議会議長）  
渋谷 俊昌（吾嬭第二中学校長）  
田中 千春（区民公募委員）  
甚野 永子（墨中地区青少年育成委員会委員長）  
岡田 真（江東学園幼稚園園長）  
小出 誠一郎（緑小学校PTA会長）  
本多 美絵子（両国幼稚園副園長）  
関 舞衣子（区民公募委員）

#### <傍聴>

1名

#### ○事務局出席者(検討チーム含む)

岩佐 一郎（子ども・子育て支援担当部長）、後藤 隆宏（教育委員会事務局次長）、浮田 康宏（子育て支援課長）、高橋 義之（子育て政策課長）、金子 明（子ども施設課長）、石岡 克己（地域教育支援課長）、村田 里美（子育て支援総合センター館長）

#### ○事務局(株名豊)

糸魚川

## 開会

### 2 報告事項

#### (1) 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果報告について

会長	報告事項（1）墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料1-1、1-2、1-3、1-4に基づいて報告）
委員	レーダーチャートの見方がよくわからないのですが、チャートを見ると少なくとも⑥育児相談、子育て相談や⑩子育て支援総合センターは前回調査のチャートと同じ形ですが、割合がかなり違います。ということは、回答者の年齢構成が関係していると考えているのですか。全部の設問が年齢構成と関係ないわけではないと思います。
事務局	資料1-3の左上に基準のチャートがございます。この形と似ているところは年齢構成と回答結果に相関関係があると考えられます。⑥や⑩は基準の形と違ってくるということは、つまり今回の年齢回答者の傾向とはリンクされないというように考えられます。例えば①妊婦歯科健康診査は今回と前回の調査結果はほぼ同じような形です。そういったところからは年齢構成は関係ないだろうというように考え、それ以外の設問についても同様の分析をしております。
会長	回答者の子どもの年齢という基準のチャートの形と、それ以外の設問のチャートの形が相似形になっていれば、影響していると判断ができるのではないかとということですか。
事務局	そうですね。特に30年度の青い部分ですが、その形と比較してもらいたいと思います。
会長	こういった分析に私はあまり詳しくないのですが、そもそも平成28年度のチャートの形、赤い線自体もそれぞれその年齢の形とは必ずしも一致していないようですが、これはどのように判断すればよいですか。
事務局	つまり、年齢の偏りによって、その年齢層に対応した設問の回答傾向があるということではないのだろうと考えたところです。
会長	これは、このニーズ調査の結果の分析をしてくださっている専門の方の分析ということでしょうか。
事務局	こちらは事務局のほうで偏りについての分析の手法として、こういった考え方でよいのではないかとということで、今回レーダーチャート作業させていただきました。
事務局	今確認をしているところですが、記載の部分で確かに少し変かなという部分もございます。回答者の属性として、6か月未満の子どもの保護者の方が増えているというところがございますので、年齢構成によって回答結果に影響を及ぼしたとすると、6か月未満の方のみ前回調査のチャートと相似形にならないのではないかとというように考えたところがございます。一方で、今回の資料それぞれの事業の認知度を見ていきますと、6か月未満のみどころが急激に減っているということではなく、他の年齢のところも含めて認知度が下がっている事業に関しては、年齢構成によって回答に偏りが出たというようにではなく、全体として認知度が減少してしまっているところが課題であると認識したところがございます。私どものほうで確認ミスがございまして申し訳ございません。そのように考えていただければと思います。
委員	今の説明だと、6か月未満の子どもが多いわけですから、基準のところは青い線がこの6か

	月未満のところは飛び出すわけですよね。他の事業は、6か月未満の子どもが多いから認知度が低いのだとすれば、そこは下がらなくてはいけませんよね。そうすると、この説明はおかしくないですか。
事務局	おっしゃるとおりでございます。ここのレーダーチャートの比較の部分、アとイのところの説明のところが悪っていたというところで、考察のところに関しては今説明したとおり、結論としては同じというように考えているところでございます。
委員	レーダーチャートの見方が違うとすれば、結論はそのように導き出されないように思います。統計がわからないのですが。
事務局	説明は確かに間違っており、委員のご指摘のとおりだと思います。答えとしては、真逆の部分を反対にしているということなのですが、そういった傾向もないので、結論的には年齢の偏りによるところが回答に影響にしたとは考えられないということだと思います。説明の仕方については修正させていただきたいと思います。
委員	安心安全メールに関しては年齢構成による偏りが見られる形になっています。
事務局	おっしゃるとおりでございます。安心安全メールのかたちがまさに指摘のような形での減少になっております。ただし、安心安全メールに関しましては、1歳から5歳までのところも含めて前回より下がっているの、やはり全年齢に関して認知度が下がっているというところに関しては変わらないかなと考えております。
会長	そうだとすると、逆に今度はその年齢の偏りによることが要因ではなく、別の要因があってこの認知度が下がっているのではないかという結論が導き出されるわけですので、じゃあそれは何によって下がっているのかということの考察が今後必要になってくるかなと思います。その点については、何か事務局のほうで作業してくださっている中で想定されていることはありますか。
事務局	事務局で検討した中でのニーズ調査の結果から導き出されたものですが、やはり転入者の数の多さというところで情報が届いていないのではないかとこのところは1つの要因として考えられるのではないかと思います。転入された方についても、子育てガイドブックをお配りするなど情報提供に努めているところではありますが、その点で十分ではない部分があるのではないかとこのところ、そこは今後検討を継続して分析したいと考えております。
会長	今回、このニーズ調査のときには、墨田区での居住年数といったことは調査項目にはなかったのですね。ですからあくまでも推測としてそのように考えられるのではないかとこのことですね。ただ、そうだとするとやはりじゃあ新規で墨田区にこられた方たちに対しての情報提供の方法もまた今後検討していかないといけないのかなと思います。そういったことも、また今後WG等でも話題にさせていただければと思います。それ以外の点でご質問やご指摘はございませんか。
委員	資料1-1の6ページに家庭タイプの表があります。有意差があるかどうかはわかりませんが、これはお子さんの年齢が上がるに従って共働きの割合が減っているように見えます。これは単に最近のお母さんたちが共働きで頑張っているためなのか、それとも年齢が上がることによって共働きを諦める要因が何かあるのだろうかと気になりました。前回調査との比較などもあればよいのかなと思いました。
事務局	確認してからご回答したいと思います。
会長	確認していただいている間に、他にご質問がございましたらお願いします。

## (2)平成31年度(2019年度)スケジュール(案)について

会長	では先に進みます。続きまして、(2)平成31年度スケジュール(案)について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料2に基づき説明)
会長	こちらのスケジュール(案)について、ご質問ご意見はございませんか。
事務局	その前に先ほどの家庭類型に関するご質問について回答させていただきます。 前回と有意差があるかという部分について確認をさせていただきました。先ほどの家庭類型が年齢に応じてというところで、共働き世帯の数が5歳のところで減ってきているといったお話がございました。前回の数を確認いたしましても、5歳のところは減ってきているというようなかたち自体は一緒になっております。全体として共働きのパーセンテージが上がっていますが、かたちはこのときとほぼ変わらないと考えていただければと思います。
会長	そうすると5歳になったときに、何か共働きがしにくくなるような要因があるのではないかと考えられますよね。
事務局	はい。おっしゃるとおりでございます。形状のかたちからするとそういった推測ができるのかなと考えております。
会長	そのことについてこのニーズ調査のデータの中から、その要因を読み解くということはどうでしょうか。クロス集計などで出せるような項目があるのでしょうか。今日この場でそこまで議論する時間がないのですが、大きな課題かもしれませんので何がそれを妨げているのか、じゃあそれに対して何か対策できることがあるのかといったところも今後検討していけるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 先ほどのスケジュール(案)につきまして、ご質問等はございませんか。 ないようですので、議題に移りたいと思います。

## 3 議題

### 次期(第二期)計画の策定に向けて

会長	次期(第二期)計画の策定に向けてについて、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料3-1、3-2に基づいて説明)
会長	ありがとうございます。少し整理をさせていただきますと、今ご説明がありましたとおり、これからこの子ども・子育て会議の中で第二期の子ども・子育て支援事業計画の基本理念と基本目標を策定していく作業が始まります。第一期のものがどういうものだったのかということ資料3(別紙)で皆さまにお示しいただいております。資料3(別紙)の左上に基本理念というのが1行書かれていて、その下の左から2つ目のところに基本目標という目標が5つ並んでいると思います。第一期の子ども・子育て会議の中で委員の皆さんに、墨田の中で子ども・子育てとして大事にしていきたいことは何かといったことを出し合っていたいて、そのキーワードを整理する中で5つの柱を立てて、それを基に目標として設定し、基本本文を策定していったというプロセスがありました。この第二期、新しい事業計画が始まるにあたって、またその基本理念や基本目標を策定するにあたり、どういった立て方をしていく必要があるだろうかというところを先ほど少し企画会議の中でも話し合ったのですが、やはり委員の方たち皆さんに墨田区として大事にしていくべきこと、していきたいことというこ

	<p>とでご意見をいただきながら策定していけたらというように思います。この後、予定されていますWGでの会議の中で、この基本理念、基本目標としてどういったことを大事にしていく必要があるだろうかというところのお話をさせていただけるとよいかと思っております。そのときに、まず第一期のときの理念、目標というものをリセットして1からというよりは、この中に大事なエッセンスというのはたくさん入っていると思いますので、これもきちんと土台として置きながら、でも5年たった今、この時代の中で新たに生まれてきている課題や取り組んでいくべきことがあるとすれば、それを少し焦点化していかなければいけないといったことも出てくるかもしれません。そういったところで、何をもうちょっと強調する必要があるのか、取り組んでいく喫緊の課題として取り上げるべきかといったところを、皆さんで少しお考えいただけたらと思っております。また、これを考える前にやはり最初に確認しておかなければいけないのが、今回のニーズ調査から浮かび上がった課題の整理だと思えます。ですから、この資料3-1についてはWGに分かれる前に、ここで皆さんと今一度確認しておきたいところだと思います。資料3-1の課題整理のところですが、おそらく4番と5番のところで、一番大きな4番のニーズ調査の結果の整理、そしてそこから抽出される5番の次期子ども・子育て支援事業計画策定に向けた課題というのがお示しされている内容で、他に何かつけ足しておくことはないのか、重視しておく必要があるところはどこなのかといったところを少し皆さんのほうからご意見をいただいた上で次の作業に入れればと思います。</p> <p>3-1の部分について、ご意見ご質問等ございませんか。</p>
委員	<p>資料3-1についてです。私の個人的感情で見た感じなのですが、3の国の動向から1、2への一方通行の矢印は仕方ないと思うのですが、1の計画の策定、2から4への矢印が一方通行ではなく、両方の矢印のほうがよいのではないかと思います。実際その結果を見ての計画策定の見直しであったり、またその5ですよ。5も一方通行ではなく、区民のニーズと課題についても、これは矢印が一方通行ではなく両面で、なおかつ1、2と5が見直しという点で双方を指していただくと、矢印が相互関係になっていかなければ本来いけないのではないかと感じました。</p> <p>もう1点、会長もおっしゃったように国の動向というのは区民もすごく関心が高いです。今回、大きな政策として保育の無償化と児童虐待の防止、行政の取り組み、地域の取り組みについてはかなり関心が高くなってくるだろうと思います。その点も踏まえた策定、計画が必要なのではないかと私としては感じております。以上です。</p>
会長	<p>今おっしゃっていただいた1点目のほうの矢印の問題に関しては、おそらく循環している関係というのが基本になると思いますのでおっしゃるとおりだと思います。ただ、立ててくださったときは、29年度までの計画策定の経緯から4番のほうにという矢印を示していただいているのですよね。この後の策定に向けてというところが入ると、この矢印が双方向になっていったりするのかなと思います。そこを含めて、少し矢印を足していただくと循環するプロセスが見やすいかもしれません。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、これまでの考え方ということでは、1つこのような一方通行なところはございますが、今の趣旨で計画策定のところも含めて考えると一方通行の矢印もありますが、資料のつくりとしてはこれまでの流れを一定の経過としてまとめたもののご理解いただけたと思います。考え方としては当然課題ができて、そこから計画の中に盛り込まれていく</p>

	ということでも、流れとしては考えております。そういったところでご理解いただければと思います。
会長	2点目ですが、やはり国の動向を踏まえて抽出されてくる課題というように考えると、虐待防止の問題、それから無償化の問題等、もしかすると課題の5番のところに少しそういったことも盛り込んでいただくといい考え方ではないですか。
事務局	こちらの国の動向につきましても、基本指針が、取り扱いなどこれから様々できた場合も含めて、様々な子育てに関わるものは当然計画の中に盛り込まれると考えられます。
委員	今回ニーズ調査をやっているのでも、これを中心に課題整理や目標が出されるのはもちろん一番大事なところだと思います。例えば児童虐待というものをとったときに、ここでいうと子育て家庭に増えているからそういった家庭を減らさなければいけないというはわかります。実際に墨田区内に300件から500件に増えているといった実態があり、各事業計画ができたというのとは大きいと思います。そういった数字を使って目標を定めていくのは大事だと思います。ですからニーズ調査のみならず、そういった様々な実数も併せて考えて、この課題整理をされていかないと網羅的な対応にはならないと思うので、そういったものも含めて考えるべきだと思います。
会長	先ほどご指摘があったこの一方通行の矢印が、じゃあこの5番はどこから出ているかというニーズ調査からしか矢印が出ていません。今おっしゃってくださったとおり、ニーズ調査では拾われない実態の部分の様々な実数としてのデータというものも踏まえて課題を抽出していくということが大事だと思います。ここに挙がっている以外のものというところを足していく必要があるかだと思います。そして、3番の国の動向のほうからの矢印はやはり必要かだと思います。少しこの課題を抽出していくにあたり、ベースになってくるものがもう少し増えてくる可能性があると思います。
事務局	実際に具体的にこの計画を策定して事業に落とし込んでいく段階では、そういった各個別のデータも当然見ていかなければいけないと思います。この計画を策定していく中で、ご意見の部分の計画策定に向けた資料としてご提示できるか、また私ども事務局のほうでも検討させていただきたいと思います。
会長	計画策定に向けた課題の整理としてこれをいただいているので、このシートの中にぜひ含めていただけるとよいと思います。次年度、計画の策定にあたり手がかりになるものとして、これが活かされていくとよいと思います。よろしくお願いします。
委員	部会でこれから分かれてやろうとしていることは、この基本理念についての意見を集めようということなのですか。この基本理念は何のために決めるのですか。理念はどこに向けたものなのかということ、自分たち向けなのですか。
事務局	これは子ども・子育て支援事業計画の基本理念ということで、子ども政策の一番大元になる考え方ということなので、当然区であっても子育て施策の一番柱となるものです。どこに向けたかということであれば、当然区民の方に向けたメッセージとなります。
会長	そうですね。どこに向けたものかというのは、大事なことかなと思います。基本目標がどこにつながっていくのかということを考えてみると、第一期の基本理念・基本目標の資料をご覧いただくと、少しプロセスが見やすいのかなと思います。実際の重点事業を考えていくときに、やはり何を大事にする必要があるからどういう対策を考える必要があるという流れの中で大元になるところが今回の理念や目標になっていくのかなと思います。

委員	多分整理するためにつくっているだけだと思います。つけていただいた過去のものを見ても全部同じですよ。子どもと親が楽しく暮らせるようにとっているだけの話です。分けていかなないと施策の立案がしにくいのだと思います。
委員	私のほうから質問ですが、課題整理のシートのところで5番の次期計画策定に向けた課題のところ、(2)の在宅子育て支援について「子育てに不安感等感じる保護者が多く、不安をやわらげるためにレスパイトの環境が必要である」とまとめてくださっています。在宅子育て支援は幅広くいろいろな支援があり得ると思うのですが、ここでレスパイトだけを挙げていらっしゃるの何か理由があるのでしょうか。
事務局	こちらはアンケートの中で、不安を感じている中で特に求める施策として一時的な休息の時間、そういった子育ての施策を求めるといったところがアンケートの結果としてこういったところが1つだと思います。
事務局	具体的なところで申し上げますと、資料1-1の報告書の問27をご覧ください。こちらが「不安を感じる」と答えていただいた方で、「不安感、孤立感をやわらげるためにどんなことが必要ですか」というところで複数回答可というかたちで行ったものになります。その一番上位の回答であったのが「時には自分のための時間を持てるように子どもを預けられる場がほしい」というのが最大の数字になっておりましたので、課題整理の中でこのようにまとめさせていただきました。
会長	<p>当事者としてそれを求めていらっしゃるということに伝えていかないといけないのは確かです。ただ、やはりこれはあくまでもご本人たちがそういった場がほしいとあってくださっていて、必ずしもそれだけが効果があるのかという、もしかするとそれ以外の支援というものが不安をやわらげるために有効なものとして必要な場合もあると思います。やはりニーズ調査だけではなく、先ほどから少しお話があるように、少し客観的な実態としてのデータなども読み解きながら、必要な施策というの幅広く検討していく必要があると思います。レスパイトがあるとよいというからじゃあレスパイトを増やすだけでよいのかどうか、これだけを挙げていらっしゃるのが気になりました。</p> <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>それでは、この後先ほど少しお話しましたとおり、この課題整理等を参考にさせていただきながら次期計画策定のための基本理念と基本目標についてWGの中でご意見を出していただきます。現実的に最終的な文言としてどのような目標になるかというのは、また次回の会議のところで確定していけたらと思います。今日のところはこういったところをもっと盛り込む必要があるか、どういうことを大事にしていく必要があるというようなところを、キーワードレベルでも構いませんのでご意見を出していただいて、最後に今日会は20時30分までを予定しておりますが、その終了の15分前くらいにWGを終わり、もう一度全体会の時間を持ちましてそれぞれのWGのご意見を少し集約させていただければと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>そして、今日はこの後WGにわかるのですが、それぞれのWGについては各部会長さんに進行をお任せすることになっています。学齢WGにつきましては本日部会長が欠席ですので、事務局のほうに進行をお願いしたいと思います。</p> <p>委員の皆さまからご意見はございませんか。</p> <p>では学齢WGについては事務局のほうで進行をお願いしたいと思います。基本理念、基本目</p>



	<p>標以外にも各WGで今後特に取り組んでいく課題やテーマなどについてもお話ができるような時間がございましたら、ぜひそこまで踏み込んでお話いただいてもよいかと思ひます。よろしくお願ひいたします。それでは、お手元の席次表をご覧いただひてWGごとのテーブルに移動をお願ひしたいと思ひます。</p>
--	--

#### 4 各WG終了後

会長	<p>それでは、それぞれのWGでどのような意見が出たか簡単にご報告いただきたいと思ひます。学齡のほうは事務局から、乳幼兒のほうは乳幼兒WG部会長からお願ひしたいと思ひます。乳幼兒のほうからお願ひします。</p>
委員	<p>30分足らずの短い時間でしたが、たくさんのご意見をいただきありがとうございます。乳幼兒のほうでは、まずは基本理念、目標等の皆さんの大まかなご意見や感想を何でもいってくださいとお願ひしました。多くが、子どもと親と地域が互いに育つ、それから楽しく育つ、笑顔で育つ等そういったまちづくりが大事なのではないかという意見が出ました。それから問題がある子どもの保護者にどう支援をしていくか、それから支援を行政から受けるだけではなく、されたら今度は自分が区民の方々に返すというような考え方など、様々な意見が出されました。</p> <p>今後のこの理念や目標の策定にかなり参考になる意見を出していただきました。</p> <p>今後の乳幼兒WGとしてどのようにやっていくかという来年度の課題、方向性についてお聞きしたところ、前期、前々期にやってきている協同的な学びプロジェクトというものを、もう少し広めてやっていったらどうかという意見が出されました。例えば学童なども一緒にできないか、乳幼兒の認証保育所や、その他の子育て関連も一緒にできないか、それから保育園の数が増えて園庭のない保育園がたくさん増えてきたので、地域ごとに園同士の連絡会などを乳幼兒WGでつくれないか、そのような意見が出されました。</p> <p>それも含めて、今回は方向性だけということですが短い時間でたくさんのご意見を出していただきました。ありがとうございます。事務局で一旦整理をさせていただき、来年度以降このようなかたちも踏まえて進めていければと思ひております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では学齡WGからご報告をお願いします。</p>
事務局	<p>学齡WG、本日は部会長、副会長もご欠席ということでございましたので、最終的な取りまとめという形はございませんが、まずは基本理念、基本目標に関するご報告でございます。こちらは、まず1つに先ほど本会でもお話が出ておりましたニーズ調査以外の課題、問題が様々な面であり、ニーズ調査に出ております数字の裏には別の問題も入っていたりするという視点が必要であるというお話が出ておりました。</p> <p>また、本日重要な視点としまして、こちら先ほど会長からお話があったことですが、5年前に議論いたしました基本理念、基本目標等につきまして、改めてすべてをゼロから築き上げる必要はないということで、逆にこの検証等も踏まえながらしっかりと基本目標1の子どもの最善の利益から目標の5のワーク・ライフ・バランスを踏まえた支援、こういったところまで今の行政から何が足りていないのかといったところを見ていくような視点が必要なのではないかといったお話が出ております。</p> <p>また、具体的などころとしては5年後の将来像の中で、地域を含むというところの中で「子どもの未来への可能性を引き出していく」というところ、ここを例えば「子どもと親の未来」</p>

	<p>という表記にすることも考えられるのではないかというご意見もございました。</p> <p>こういったところはまた事務局でまとめまして、次回WGのときにご提供したいと思っております。</p> <p>また、WGの今後の方向性につきまして、これは私が部会長からうかがったお話を基にいたしまして、ご報告という形でさせていただきました。学齢部会は前回、児童館を中心とした健全育成を進めるということをやっておりましたが、今後放課後対策ということで学齢をどのようにやっていくかということ部会長さんが検討されたいということをおっしゃっていたということをご報告させていただいた上で、放課後対策をどのように教育委員会、その他の関係機関が手をつなぎながらやっていくか、そういったところを掘り下げられるのではないかというお話をさせていただいたところでございます。</p> <p>本日の内容につきましては、事務局でまとめまして部会長にもご報告させていただき次回につなげていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それぞれのWGで活発なご議論をいただいたようです。今ご報告いただいたように、とりあえず基本理念と基本目標に関しましてはいただいたご意見を基に事務局で少し検討していただきまして、次回の会議のときにご提案いただくというかたちで進めていければと思います。</p> <p>同時に、具体的な今後取り組んでいく事柄としまして出させていただきました課題については、今後それぞれのWGでお集まりいただきながら1つ1つ取り組んでいくべきことをご確認いただいて具体的な進め方等、ご検討いただければと思っております。また、具体的にどのように何を進めていくかというようなことが決まってきましたら、親会議にご報告いただいて、全体で確認しながら進めていければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議題は以上になります。</p> <p>最後に1つ、皆さまにご報告がございます。</p> <p>乳幼児WGの部会長としてご尽力いただいております委員が、この度私立保育園協会の会長職から代わられるということで、子ども・子育て会議にもご出席いただくのが今回最後となります。最後にごあいさつをお願いいたします。</p>
委員	<p>この会議は、前の次世代育成支援の会議からずっと参画をさせていただきましてもう十数年になります。この度、墨田区私立保育園協会の会長職を譲るということになりましたので、ここでこのお役は御免ということになります。新たに新会長が私の後を継いでこの席に座らせていただくことになろうかと思っております。本当に長い間、私も精一杯頑張ったつもりですが微力で知識不足で皆さんに多大なご迷惑をおかけしたかもしれません。何とかここまでやってこられたのは皆さんのお蔭だと思っております。本当に長い間ありがとうございました。</p>
会長	<p>本当にありがとうございました。</p> <p>それでは事務局から次回の日程について報告をお願いいたします。</p>

## 5 その他

事務局	(次回の日程について報告)
会長	ありがとうございます。WGによってはそれまでの間に部会が開催されることもあるかと思

	<p>います。該当される方々にはそれぞれご連絡がいくと思いますので、そのときにはご協力を よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の子ども・子育て会議はこれで閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>
--	---

**閉会**

以上